

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスみんかる			
○保護者評価実施期間	令和6年7月1日 ～ 令和6年8月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	30名	(回答者数)	19名
○従業者評価実施期間	令和6年7月1日 ～ 令和6年8月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数)	10名
○事業者向け自己評価表作成日	令和6年年10月31日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	当社の放課後等デイサービスでは、通所支援だけでなく、学校と連携し、「保育所等訪問」を通じたアウトリーチ支援に力を入れています。放デイ・学校・家庭の間で、児童様が日常生活の場で適応しやすくなるようなサポート体制を整えていること。	放課後等デイサービスでは、児童ができるようになったことを保育所等訪問やサービス担当者会議を通して、学校と共有しています。また、デイサービスでの取り組みを学校に伝えるだけでなく、学校でうまくいった方法や取り組みをデイサービスに取り入れ、児童に必要なサポートを途切れなく提供できるよう努めています。	現在は、特定のスタッフが、保育所等訪問やサービス担当者会議を担っているため。 今後は、保育所等訪問を通じたアウトリーチの更なる充実を図るため、保育所等訪問支援員の育成に注力していきます。
2	家庭での悩みや課題に対する相談や情報提供を行う家族支援にも力を入れております。 家族支援を通して、こどもの成長を地域全体で支え、家族が安心してサポートできる体制の充実を図ろうとしていること。	初回面談では、ご家族の希望やお悩みを丁寧に伺い、お子様へのサポートの優先順位を明確にし、課題が見えるよう心掛けています。また、家族支援の必要度やご要望に応じて、モニタリングの頻度を調整し、経過報告や今後の方針の見直しに努めています。	現在は、個別相談による家族支援が中心ですが、今後は家族同士が交流できる「家族交流会」などの集団での家族支援の開催を検討し、家族に対するサポート体制の強化を図っていきます。
3	職員の資質向上を目的に、積極的に外部研修に参加することを推奨しています。外部研修を通して、内部で仕事に従事するだけでは得られない発達障害や行動支援、児童福祉に関する知識や実践的なスキルを学び、職員のスキルアップに繋げていること	管理職が、近隣やWebで行われる外部研修情報を定期的に確認し、スタッフのスキルアップに繋がる研修があれば、スタッフに情報提供するように心掛けています。また、研修参加の希望があれば、積極的に研修に参加して貰えるように、応援する体制を整えています。	現在は、研修に参加したスタッフが、持ち帰った学びを口頭で伝達を行なっています。 今後は、伝達講習を開催し、持ち帰った学びを活字に残し、新たに入職したスタッフの教育に用いれるような学びの体制を整えることを検討しています。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流の機会が少ないこと。	当社の放課後等デイサービスでは、個別相談を望まれる家族が多数を占め、家族間交流を望まれる家族は、それほど多くはないと想定していたことが要因。	現在実施している個別相談による家族支援に加えて、今後は家族同士が交流できる「家族交流会」などの家族支援の開催を検討します。
2	事故や感染症、非常災害への対応方法について保護者への周知が不十分だったこと。	契約時の口頭説明や、災害リスク（警報など）の際にシステムを運用することで周知を図っていました。 しかし、災害リスクの事案は頻繁に発生するものではなく、また、システム運用の通知も当日の利用者に限定されていたため、すべての保護者に情報が行き届かなかったことが原因だと考えられます。	契約時の口頭説明だけでなく、災害対策の訓練などの情報をアップし、周知を図る。 保護者に分かりやすいように、災害等の対応方法の文章を作成し、周知を図っていきます。
3	放課後児童クラブや児童館との交流や地域住民との交流機会など繋がりを強化していくこと	他の放課後児童クラブや児童館との繋がりを模索や地域イベントへの参加を少しずつ行っている段階です。	地域イベントへ積極的に参加し、他の放課後児童クラブや地域住民との交流機会を広げていきます。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービスみんかる
------	----------------

公表日 2024年10月31日

利用児童数 30名（兄弟を含む）

回収数

19件

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17名	1名		1名		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	14名	2名		3名	・専門性は確かだと思う ・送迎にスタッフ2名が同乗できれば ベスト	多動のあるお子様の保護者様より、 スタッフ2名の同乗での送迎希望を 頂きました。スタッフを増員し、 リスクの高いお子様は、2名体制での 送迎に変更させて頂きました。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	17名	1名	1名			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	18名		1名			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17名	2名				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15名			4名		
	7	こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15名	1		3名		
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14名	2名		3名		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15名	2名		2名		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13名	3名		3名	・利用時間が短いため、分からない ことが多い。	プログラムが固定化されないように、 利用者の希望や小中学生で流行して いる活動をプログラムに取り入れて 楽しみながら、各利用者の課題を 改善していけるように工夫している。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5名	3名	3名	8名	・交流会が、なくても特に問題はないと 考えている ・今後に期待	保護者様より、放課後等デイサービス 以外のお子様や地域の方々との交流を 求めるお声を頂きました。 第1弾として、長期休暇（夏休み等） の際に、公共施設の利用や地域イベント への参加を企画し、好評を得ています。 今後、安全面を配慮し、他の事業所や 地域の方々との交流会を企画してい きます。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19名					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17名	1名		1名		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5名	3名	3名	8名		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19名					
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	17名	2名				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	18名	1名				

保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	5名	3名	3名	8名	・そのような場があれば、参加したい ・利用時間が短いため、分からないことが多い。 ・家族会がなくても、特に問題はないと考えている。 ・今後、開催を期待したい。	保護者様より、他の家蔵様との交流を求めるお声を沢山頂いています。来年度を目処に、家族様同士の交流会を検討しています。
	19	こどもや家族からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17名	1名		1名	・祝日も営業してくれると嬉しい。	保護者様から相談の申し入れがあった場合、相談支援員様や学校様と連携し、迅速な対応を心掛けています。営業日については、働き方改革の指針を厳守し、適切な人員配置を維持するため、すぐの変更は難しいと考えています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17名	2名				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13名	1名		5名	・会報やホームページを見ることは少ないが、送迎時の報告で問題ないと思う	電子連絡帳を採用し、タイムリーな情報提供を心掛けています。保護者様より、活字だけでなく放デイの様子が分かるものがほしいという要望にお応えし、会社のブログに不定期で活動内容を発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19名					
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10名	1名	2名	6名	・利用時間が短いため、分からないことが多い。 ・今後に期待したい。	対応に不手際があった際は、速やかに連絡する体制を整えています。今回のアンケート結果から周知が十分出なかったと考えられます。再度、周知の機会を設けていきたいと考えています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8名	3名	1名	7名	・利用時間が短いため、分からないことが多い。	災害の可能性がある際は、事前に安全対策について周知しています。例えば、大雨や洪水警報が発令される可能性がある場合、営業時間の変更やお子様の受け渡し方法などを、電子連絡帳やLINEで、保護者様に確認しています。今回のアンケート結果から周知が十分出なかったと考えられます。再度、周知の機会を設けていきたいと考えています
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	8名	3名	1名	7名		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16名	2名		1名		
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	18名			1名		
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	17名	1名		1名	・仲の良い子がいる日は楽しみにしている	お子様自身の特性や他のお子様との相性を考慮し、スタッフが間に入り、お子様同士が楽しく交流できるように関わっています。
	29	事業所の支援に満足していますか。	16名	2名		1名		

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービスみんかる				公表日	令和6年 10 月 31 日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10名		学習・制作活動・運動/遊びの部屋を分けて、勉強や活動に取り組みやすい環境を整えている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	10名		学習・制作活動・運動/遊びのエリア利用のお子様の人数に合わせて、職員を配置し、密に関われるように工夫をしている		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10名		学習・制作活動・運動/遊び、トイレなど利用目的によって部屋を使い分けると共に、視覚的な表示をすることで、何をする場所かお子様に分かりやすいように工夫している。また、身体に障害をお持ちのお子様が、ご利用しやすいようにエレベーターを設置している。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	10名		毎日、開所前・開所後に、室内の清掃を行い、お子様が快適に過ごせるように心掛けている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10名		お子様の障害特性や活動目的に合わせて、個室やホールなどを自由に使える。また、お子様自身の意思を尊重し、自分で活動したい場所を選択してもらっている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	10名		1ヶ月に1回の定期ミーティングを実施。また、お子様で気になる点やプラン変更した方が良い点があれば、その都度職員の間で話し合っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10名		保護者向け評価表による年に1回のアンケート調査、およびモニタリングの際に、保護者の以降を伺い、業務改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	10名		1ヶ月に1回の定期ミーティングを実施。また、お子様で気になる点やプラン変更した方が良い点があれば、その都度職員の間で話し合っている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2名	8名		第三者による外部評価は、今後の課題である。まずは、法人内の別部署の職員や障害をお持ちのお子様の職員の客観的評価を実施していく予定である。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	10名		発達障害やペアレントトレーニングなどに関する外部研修会に、積極的に職員が参加し、自己研磨している。		
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8名	2名		電子連絡帳を用いて、利用されているお子様の保護者宛にプログラムの概要を文章で伝えている。職員から、保護者の許可を得て、写真やブログなどで、内容を公開してはどうかという意見が出た。内容を精査しつつ、社内ホームページなどに一部を公開している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	10名		お子様の変化や保護者様からの要望は、業務日誌に記録し、ニーズや課題をプランに反映して、個別支援計画書を作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10名		1ヶ月に1回の定期ミーティングを実施。また、お子様で気になる点やプラン変更した方が良い点があれば、その都度職員の間で話し合い、職員が共通の理解を持ってお子様に関われるように工夫している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	10名		児童発達支援管理責任者が、計画を作成し、各職員が、支援項目に沿った関わりや記録を行っている。		

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8名	2名	お子様の日々の行動観察を施設独自の項目でアセスメントしている。フォーマルなアセスメントも導入予定。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	10名		サービス担当者会議などを積極的に開催し、施設職員や保護者だけでなく、学校の教員や他社の施設職員、相談員、外部専門家の意見を取り入れて、支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10名		職員に意見を募るだけでなく、お子様にも意見を聴き、利用者参画型のプログラム立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7名	3名	職員に意見を募るだけでなく、お子様にも意見を聴き、利用者参画型のプログラム立案を行っている。	男児の利用者様の割合が高いため、男の子向けの活動が充実している。一方で、女兒向けの活動が少ないため、女性スタッフや女兒の児童様の意見を取り入れて、少しずつ女兒向けの活動を増やしていている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	10名		お子様の特性や発達課題に合わせて、個別活動と集団活動を併用し、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10名		開始前に、送迎の手順やその日の利用者の最近の様子の確認をチームで行い、活動内容や役割分担を行って支援している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8名	2名	支援終了後、または翌日の午前中に、利用者の気になった点や次の介入の注意点を共有するように心掛けている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	10名		記録はその日のうちに記載することを徹底し、支援の経過の振り返りや改善に生かしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	10名		利用者の状態に合わせて、モニタリング時期や日々の様子に情報交換を保護者を行っている。状態変化があれば、モニタリングの頻度を多めに取り、随時計画の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	10名		4つの基本活動（本人支援、家族支援、移行支援、地域支援）を盛り込んで、個別支援計画を作成し、複数を組み合わせ支援している。	
関係機関や保護者との連携	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	10名		1.お子様が自ら自由に活動を決める。 2.工作・運動・勉強の活動枠から決める。 3.2択、3択の選択肢の中から、活動を決める。 お子様の能力に合わせて、活動を自己選択・自己決定できるように支援している。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	10名		お子様の状況を正確に伝えるため、関わりの深い職員が、サービス担当者会議や関係機関との会議に出席できるように調整している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5名	5名	学校との連携を深めるために、保育所等訪問を開始している。	医療機関との連携体制は、模索中である。相談支援事業所や他事業所とのやり取りは、サービス担当者会議や文章でのやり取りを通じて、少しずつ支援体制を整えて行っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	10名		保育所等訪問やサービス担当者会議、および送迎時に、情報交換・共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2名	8名		就学前に利用していた保育所等まで、直接的な情報共有・やり取りは、十分に行えていない。今後は、直接問い合わせたり、就学後利用予定の利用者の申込があった場合は、見学に行くなど相互理解に努めていく。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。				本年度、開設の事業所のため、今後、卒業生がされる方がいる場合は、移行時に情報提供を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		10名		今後は、外部との連携を図り、スーパーバイズや助言を受ける機会を設けていく。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6名	4名	地域イベントや社会体験（公共機関）の利用体験を通じて、地域の子どもたちとの交流機会を設けている。今後は、学童や児童館も行っていく。	

	33	(自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	2名	8名		今後は、協議会等の活動にも、参加していく。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	10名		電子連絡帳を用いて、日々のお子様の発達状況や課題について、その日のうちにやり取りをしている。また、お子様の状況によっては、面談やカンファレンスを通じて、保護者の皆様と共通認識が持てるように心掛けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4名	6名	個別面談やカンファレンスを中心とした家族支援を行っている。	ピア・カウンセリングや当事者家族同士の意見交換の場が必要であると痛感している。来年度を目処に、家族様が交流できる場の開設を検討している。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	10名		初回の見学や契約の際に、文章や表を用いて、運営規定やプログラム、利用者負担などの説明を行っている。また、問い合わせがあった場合、その都度説明をさせて頂いています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	10名		初回や更新時の個別支援計画作成の際に、お子様や保護者の皆様の意向を確認し、プランに盛り込み、同意を得るプロセスを確立している。上記のプロセスを徹底することで、お子様、家族様の利益や意思が尊重されるように、最大限の配慮を心掛けている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	10名		お子様や保護者の二ードを取り入れた個別支援計画書を作成し、支援の要点を要約して説明を行い、保護者に同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	10名		定期モニタリングの際に、ご家族の子育てに対する悩みを伺い、一緒に解決方法を考えている。定期モニタリング以外でも、ご相談があれば、日取りを設定し、こまめな面談機会を設けています。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		10名		現状は、保護者会の設立には至っていない。現在、複数名の保護者様からご要望を頂いているため、来年度を目処に家族交流会の開催を計画している。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	10名		契約の際に苦情窓口があることを周知している。保護者様より、不手際のご指摘があった場合、管理者より直接連絡を入れ、日程を調整して、ご意見を伺い、速やかに対応できる体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6名	4名	お子様のご様子は、その日のうちに、活動概要や予定は、およそ1ヶ月前に、電子連絡帳を用いて保護者に発信している。	保護者からのアンケートで、HPなどでも活動概要や行事予定を知らせてほしいという要望を頂いています。活動概要の一部をホームページのブログに載せるなど、ご意見を取り入れて、外部への発信手段を整備していています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	10名		個人情報の記載されているファイルは、鍵の掛かる棚で保管しています。電子化している部分は、安全性が確認されている業者のソフトを使用し、個人情報漏れれることのないように厳重に管理しています。また、個人情報の提供（学校や他事業所などから情報提供の要請）の際には、保護者に確認を取り、同意を得てから提供しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	10名		コミュニケーションや意思疎通が苦手なお子様や保護者様に対しては、その方の理解度に合せて意思伝達の方法（ジェスチャーや絵カード、文章など）を選択し、情報が伝わるように配慮しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5名	5名	地域のフェスタやイベントへの参加や高齢者施設への訪問を通して、地域住民との交流しています	事業所主催の行事に地域住民を招待するまでには至っていない。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10名		事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを作成し、全ての職員がいつでも閲覧、マニュアルに沿った対応ができるように体制を整えています。 また、契約の際に、上記の非常時の対応マニュアルがあることを保護者に説明しています。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4名	6名	BCPを作成し、本社と連携して、災害発生時に備えをしている。	アンケートによって、管理職とそれ以外で、BCPに対する認識の違いが見られたため、近日中に、再度研修を実施します。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	10名		契約時に、服薬状況やアレルギー、持病などの聴取を行い、保護者の皆様から禁忌事項や緊急時の対応について、すり合わせを行っています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	10名		食物アレルギーがあるお子様の場合、禁忌の食べ物や医師から診断結果について、詳しく聴取させて頂いています。 その結果を元に、保護者様と話し合い、食物アレルギーのリスクの高いお子様には、お菓子やお弁当の提供などは控えてさせて頂いています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	10名		安全管理の必要なマニュアルを作成し、不測の事態が起こった時に、適切な対処がなされる体制を整えている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10名		防犯（不審者）や災害リスク（警報時）防止のために、その日勤務の管理者が、保護者様から情報提供を募って、対応策を検討し、保護者に周知・協力を仰いでいる。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	10名		ヒヤリハットが起こった場合を想定し、該当者から管理者に報告、事故報告書の提出、ヒヤリハットの情報共有（業後、もしくは、次の日の業前）に、勤務者全員に情報が行き渡る体制を整えている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	10名		虐待防止に関する社内研修を定期的に実施している。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	10名		現状、身体拘束が必要な利用者は、通所されていないが、どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかの取り決め（著しい自傷他害など）がある。スタッフ間で、共有している。	